

お知らせ

個人事業主の交際費、必要経費とするための3つのポイント

取引先との関係構築や営業活動の一環として発生する飲食や贈答などの支出は、個人事業主にとっても重要な経費のひとつです。これらはいわゆる「交際費」に該当するものですが、税務上の必要経費として認めてもらうには、注意が必要です。

必要経費とできるもの

事業所得の金額は、基本的に総収入金額から必要経費を差し引いて求めます。この場合の必要経費とは、次の金額です。

内容	主な勘定科目
総収入金額に対応する売上原価その他その総収入金額を得るために直接要した費用の額	直接費 仕入、原材料費、外注費など
その年に生じた販売費、一般管理費その他業務上の費用の額	間接費 広告宣伝費、消耗品費、地代家賃など

自接待に要した金額や贈答品代など、いわゆる交際費について、税務上の接待交際費として必要経費とするには、相手方や支出の理由などからみて、事業を営む上で通常必要であると認められなければなりません。ここでは、必要経費として認められるためのポイントを、3つご紹介します。

● 接待交際費と認められる3つのポイント

(1) 事業に関係していること

接待交際費であれば、収入につなげるための活動なのかが、ポイントになります。

ポイント：

- お客様や取引先との食事や贈り物など、事業のために使ったお金であること。
- 家族や友人とのプライベートな支出はNG。

(2) 記録・保存していること

支出を証明する領収証など書類の保存はもとより、相手の名前や、いつ、どこで、どんな目的で支出したのかなどを記録しておきましょう。領収証などにメモ書きするだけでも、将来、税務調査があったときに容易に説明することができます。プライベートで同様の支出があれば取っておき区別していることの説明ができると、なおよいでしょう。

ポイント：

- 支出を証明できるレシートや領収証などを保管。
- 誰と、いつ、どこで何の目的で使ったかなどを、メモしておく。

(3) 常識の範囲内であること

支出する金額や接待の回数が、常識的な範囲内であることも大切です。金額が高額あるいは回数が多い場合は、その理由や必要性について、合理的に説明できるようにしておく必要があります。

ポイント：

- 高すぎる支出や頻繁すぎる接待は、税務署に疑われることも。
- 「事業のため」と説明できる内容・金額にしましょう。

法人とは異なり、法律上、交際費等の区分はなく金額にも上限はありません。しかし、税務調査では、法人よりも厳しい目で見られることもあるため、注意しましょう。

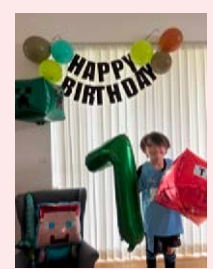
編集後記

今年の夏は暑くならない、と少し前の天気予報で聞いたような気がしたのですが、執筆時点で梅雨も明けていないのにうだるような暑い日が続いています。

母の介護と子供の送迎、家事育児に追われる毎日です。母の認知症は薬物療法が始まりました。数日でぼんやりしていた世界の輪郭がクリアになったと言っておりましたが、やはり数日前の話（特に興味がないと思われる話題）は覚えておらず。副作用の度合いも見つづき合っていくしかないようです。

共倒れとならないように気を付けなければなりませんね。

編集：小山



七夕は長男7歳の誕生日でした

会社情報

〒107-0062

東京都港区南青山3丁目17番14号
中山ビル4階

電話：03(5414)5855

FAX：03(5414)5856

弊社は、現在個人・法人を問わずさまざまな経営者の皆様の税務会計並びに融資相談、経営計画の策定等を行わせていただいております。また土業のパートナーの方々と協力のもとワンストップサービスを提供しております。会計、税務、人事、労務、経営なんでも是非一度ご相談ください！



地下鉄表参道（銀座線・千代田線・半蔵門線）
A4出口より徒歩1分

税理士法人 総和 www.m-partners.jp HPもぜひご覧ください



第128号

減税と積極財政で拓く未来

最近では減税に関する「103万円の壁」や「消費税」に関心が高まっていますが、日本はこの何十年もの間増税を繰り返してきました。そのたびにGDPが落ち込んできたのが現実です。「税収弾性値」という指標は経済が成長すれば税収も自然に増えることを示しています。つまり景気を良くすることが最優先で、減税や積極的な財政出動が必要だと私は考えています。

ここでよく議論になるのが「国の借金問題」です。確かに借金の額だけを見ると非常に大きいのですが、日本には多くの資産もあります。大企業も多額の借金を抱えています。それがそれ以上の資産があるので経営は安定しています。

さらに日本は「通貨発行権」を持っており、自国通貨（円）を必要に応じて発行できます。政府が企業や日銀から国債という形でお金を借りていても円を発行して返済することが可能です。ギリシャやアルゼンチンと違って外貨建て借金ではありません。円での借金です。円を印刷すればいい話です。ただ慎重にやらなければみんな働かなくなってしまう（笑）。

「そんなことをすればハイパーインフレになる」と心配する声もありますが、それは戦争や大災害などで物資の供給が極端に不足した場合のように需給バランスの話です。むしろ日本の財政がいかに健全であるかということが理解されて円高になると考えています。

これからは減税と積極財政を実行する政治が求められ、将来は明るいのではないのでしょうか。その先の「無税国家」も夢ではないと思っていますし、それまで生きていたいものです。

今月もどうぞよろしくお願いいたします。

代表社員 益本 正蔵



毎週話題が豊富です！

追伸 弊社で無料メールマガジンをスタートしました。そうわ通心と合わせて、お読みいただければ幸いです。

TOPICS

- P2 … 税務通心 改正前を適用した年末調整 その後はどうなる？
- P3 … 労務通心 キャリアアップ助成金、「年収130万円の壁」対応の新コース
- P4 … お知らせ 個人事業主の交際費、必要経費とするための3つのポイント
編集後記 会社情報

